

| 平成28年度第2回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要 | |
|----------------------------------|--|
| 開催日時 | 平成 28 年 6 月 27 日 16 時 ~ 16 時 30 分 |
| 開催場所 | 小山田記念温泉病院 第3会議室 |
| 出席委員 | 毛受、森、北村、原、山中、伊藤、家崎、清水、坂(敬略称、順不同) |
| 新規研究計画の審議 | |
| 申請者 | 平野 裕三 |
| 研究名 | 透析中のベルト電極式骨格筋電気刺激が身体機能と心理的疲労感に与える影響 |
| 研究内容 要旨 | 透析患者における骨格筋量の損失は死亡率増加の独立した因子です。近年、透析中にベルト電極式骨格筋電気刺激を用いることで、骨格筋量の増加が得られるとの報告がみられるようになった。しかし、それらの研究は歩行能力や活動量といった身体的機能面や疲労感などの心理的側面は評価されていない。そこで、今回、透析中のベルト電極式骨格筋電気刺激が身体機能と心理的疲労感に与える影響について調査したい。 |
| 審議結果 | 承認 |
| 参考 | 本研究は大学病院医療情報ネットワーク研究センター臨床試験登録システム(UMIN-CTR)に登録予定である。 |
| 新規研究計画の審議 | |
| 申請者 | 松本 周二 |
| 研究名 | 介護老人保健施設におけるボッチャの身体的・精神的活動の効果検証 |
| 研究内容 要旨 | ボッチャは日本では子どもから高齢者まで幅広い年代で楽しまれている事が多い。ただ、主に活動しているのは障害者施設や地域の福祉施設が中心となっており、高齢者施設においての活動は少ない。今回、ボッチャの魅力である誰にでも出来るスポーツで、障害があっても耐糖に対戦できる点を念頭に置き、当介護老人保健施設において効果検証を行い今後の余暇活動への拡がりを検討したい。 |
| 審議結果 | 承認 |
| 参考 | 本研究は大学病院医療情報ネットワーク研究センター臨床試験登録システム(UMIN-CTR)に登録予定である。 |
| 新規研究計画の審議 | |
| 申請者 | 出口 晃 |
| 研究名 | 療養施設における経管栄養患者の実態調査 |
| 研究内容 要旨 | 当医療法人、関連社会福祉法人の療養施設における経管栄養患者の入所者に対する割合、胃瘻造設後の年数を調査する。2006年、2011年に行った調査と比較検討し、療養施設における経管栄養患者のあり方を考える参考資料とする。 |
| 審議結果 | 承認 |
| 意見 | 書類審議を行い、「研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は回覧できる旨」を説明書に記載するべきとの意見が出されました。この意見に沿って説明書が修正されたことを確認後、承認としました。 |
| 新規研究計画の審議 | |
| 申請者 | 中 猛則 |
| 研究名 | 訪問リハビリテーション実施計画書の目標設定からみる「活動」と「参加」項目を含んだ文章解析 平成27年度介護保険改定を受けての前年度との比較 |
| 研究内容 要旨 | 介護保険改定から1年が経過し、当院訪問リハビリ事業所のリハビリ計画書内容について、2年間のデータを後ろ向きに調査し、世界保健機構(WHO)が提唱している国際生活機能分類(ICF)の「活動」と「参加」項目の増加や終了要因についての関連を文章解析し、比較検討したい。 |
| 審議結果 | 承認 |
| 意見 | 書類審議を行い、承認いたしました。 |

| 新規研究計画の審議 | |
|------------|--|
| 申請者 | 近藤 照美 |
| 研究名 | 褥創カンファレンスシートを活用したカンファレンスの実施を試みて |
| 研究内容 要旨 | 褥創カンファレンスシートを用いたカンファレンスを行い、スタッフの知識と経験の違いを補うことで、褥創の早期対応ができ、患者に褥創を発生させないことを本研究によって目指す。 |
| 審議結果 | 承認 |
| 意見 | 書類審議を行い、研究当実施計画書に記載された研究機関の長を、看護師長から病院長に訂正した後に、承認といたしました。 |
| 新規研究計画の審議 | |
| 申請者 | 渡辺 美和子 |
| 研究名 | 感染対策を考慮した吸引手技の統一化 |
| 研究内容 要旨 | 当院の業務マニュアルを元に実践現場に合致した手順書を作成しアンケートを行うことで、手技の統一化を図り職員の意識向上と感染拡大の予防を進めていきたい。 |
| 審議結果 | 承認 |
| 意見 | 書類審議を行い、承認といたしました。 |
| 新規研究計画の審議 | |
| 申請者 | 中村 毅 |
| 研究名 | 食事介助に関わる職員の食事介助についての意識調査 |
| 研究内容 要旨 | 本研究はでは病院、施設で食事介助を行う職種において食事介助上の問題意識、不安面、要望などを明らかにする目的でアンケート調査を行う。そこから得られる情報により食事介助上の教育、指導法を考察する。 |
| 審議結果 | 承認 |
| 意見 | 書類審議の結果、承認といたしました。 |
| 新規研究計画の審議 | |
| 申請者 | 多田 洋子 |
| 研究名 | 職員のワクチンに対する意識調査 |
| 研究内容 要旨 | 職員がワクチンに対して自己管理意識を持ち合わせているかを調査し、結果により衛生委員会や院内感染対策委員会に相談し、対策を考えていきたい。 |
| 審議結果 | 承認 |
| 意見 | 書類審議を行い、承認といたしました。 |